

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：労働費 項：職業訓練費 目：職業訓練校費

事業名 建設業界等と連携した人材育成・獲得プロジェクト事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部労働雇用課人材育成係 電話番号：058-272-1111 (内 3126)

E-mail: c11367@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 1,161千円 (前年度予算額：1,161千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財産 収入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	1,161	462	0	0	0	0	0	0	699
要求額	1,161	565	0	0	0	0	0	0	596
決定額	1,161	462	0	0	0	0	0	0	699

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

建設業界、製造業界等では特に若年者の担い手確保が大きな課題となる中、国際たくみアカデミーでは、入校生確保が課題となっている。建設業界等を目指す若年者の減少は入校生の減少にも繋がることから、各関係団体とこの課題を共有し、連携して人材の育成・獲得に取り組む必要がある。

平成28年度までは建設業界と建設業関係3科の連携に特化して取り組んだが、平成29年度からは国際たくみアカデミーとして人材育成に取り組む製造業界とも連携を図り、それぞれ人材の育成・獲得に努めている。

(2) 事業内容

国際たくみアカデミーと建設業界等の関係団体とが一体となって、職業としての建設業、製造業の魅力向上や入校生確保に向けた取組みを行い、関係各科の入校生確保と人材育成を図ることで、その出口となる建設業界等の人材獲得に貢献する。

【職業的魅力的発信強化】 940 千円

○建設業界等と連携した「親子しごと体験教室」等の実施

関係団体と協力し、ものづくりに触れる「親子しごと体験教室」を実施し、ものづくりのやりがいや魅力のアピールとともに、その職業に直結した国際たくみアカデミーとを一体的にPRする。

○熟練の技能に触れる魅力的な講座等の開催

高校生を対象としたものづくり体験実習、オープンキャンパスでの体験講座等により、熟練技能の魅力をPRするとともに、対外的に情報発信を行う。

【新たな担い手「女性」の取り込み】 221 千円

○「たくみ女子会」による女性技能者・技術者の交流促進等

アカデミー修了生を中心に女性技能者等が交流する女子会を設け、建設業界における女性のネットワーク化と女性目線で建設業界の仕事の魅力等を発信。

○女性人材獲得に向けた検討会等

女子会メンバーと関係団体による女性獲得に向けた検討会の開催等。

【魅力的なカリキュラムの充実】

○マイスター等の非常勤講師による魅力的な授業の実施

熟練技能者である非常勤講師による授業機会を設け、入校生の意欲とスキル向上を図るとともに、入校検討者に向けたアピールポイントとする。

(3) 県負担・補助率の考え方

地方創生推進交付金充当（補助対象経費の1/2補助）

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	302	親子ものづくり体験教室、たくみ女子会講師
旅費	249	講師等費用弁償、業務旅費
需用費	525	消耗品 377 千円、会議費 2 千円、印刷製本費 146 千円
役務費	54	傷害保険料、郵送料
使用料・賃借料	31	会場借り上げ料
合計	1,161	

決定額の考え方

事業評価調査（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 国際たくみアカデミーの入校生確保は、各業界の担い手確保に直結するため、関係団体と連携した取組みによって入校生を確保・育成し、輩出する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名：定員充足率	事業開始前	指標の推移			現在値	目標	達成率
		(H28)	(H29)	(H30)			
生産技術科	50% (H28)	80% (H29)	75% (H30)	40% (R01)	100% (R02)	100% (R03)	100%
建築科	100% (H28)	100% (H29)	110% (H30)	100% (R01)	110% (R02)	100% (R03)	110%
住宅建築科	45% (H28)	60% (H29)	80% (H30)	65% (R01)	75% (R02)	100% (R03)	75%
設備システム科	40% (H28)	50% (H29)	120% (H30)	70% (R01)	30% (R02)	100% (R03)	30%

○指標を設定することができない場合の理由

（前年度の取組）

・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）
 <令和元年度>
 親子しごと体験教室の実施 7月開催 147名参加
 たくみ女子会の開催 12月14日開催
 ※令和2年度は新型コロナウイルス感染症のため中止

（前年度の成果）

・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果
 職業的魅力とたくみアカデミーの取組みを業界団体と一体となってアピールすることができる。

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い、△：必要性が低い 	
(評価) ○	建設業界、製造業界の人手不足、とりわけ若年者の担い手確保が大きな課題となる中、人材を輩出する国際たくみアカデミーの入校生確保が各業界の若年者獲得に直結することから、課題を共有する関係団体と連携した取組みを展開していく必要がある。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおり又はそれ以上の効果が得られている、△：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価) ○	事業開始前と比較して、定員充足率は向上している。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている、△：向上の余地がある 	
(評価) ○	平成30年度から、親子ものづくり体験教室を実施し、保護者の理解・関心を高めるような工夫を行っている。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 若年者の人口減少が進む中、堅調な雇用情勢を背景として各業界の人材確保は一層厳しい状況となっており、国際たくみアカデミーにおける入校生確保への期待が高まっている。
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 入校生と各業界における担い手の獲得に向けて、関係団体と連携して様々な取組みを検討し、推進する。
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	無し
組み合わせで実施する理由や期待する効果 など	無し